

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

令和9年度の港区総合計画「MINATOビジョン」改定に向け、港区赤坂地区総合支所が行う事業等について、赤坂・青山地域在住者の意見や要望を把握するために区民意識調査を実施した。

(2) 調査の概要

調査対象者	赤坂・青山地域在住の18歳以上の男女 1,500人
抽出方法	住民基本台帳から単純無作為抽出
調査地域	赤坂・青山地域
調査期間	2025年7月4日(金)～25日(金)
調査方法	郵送法(郵送配付・郵送回収、督促を兼ねた礼状ハガキ1回) ※インターネットによる回答も可能とした。
回収数	380件(郵送:186件、インターネット:194件)
回収率	25.3%

(3) 調査項目

1. ご自身について
2. 赤坂地区における取組について
3. あなたが生活する周辺の地域について
4. 将来のまちづくりについて

(4) 報告書の見方

1. 図表中のnは、設問に対する回答者数を示している。
2. 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率(%)の合計が100%にならない場合がある。
3. 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出している。そのため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合がある。
4. 本文や図表中の選択肢表記は、必要に応じて語句を短縮・簡略化している。

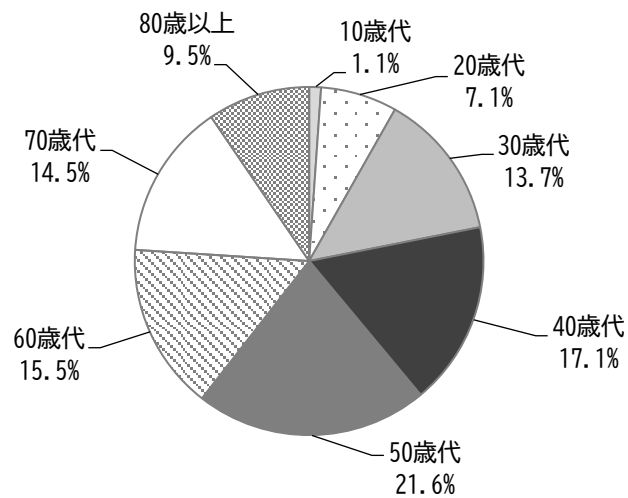
2. 調査結果

1 ご自身について

問1 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

年齢は、「50歳代」が21.6%と最も高く、次いで「40歳代」が17.1%、「60歳代」が15.5%となっている。

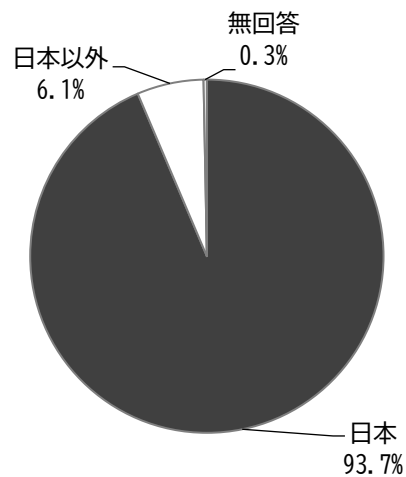
(n=380)



問2 あなたの国籍をお答えください。(○は1つ)

国籍は、「日本」が93.7%、「日本以外」が6.1%となっている。

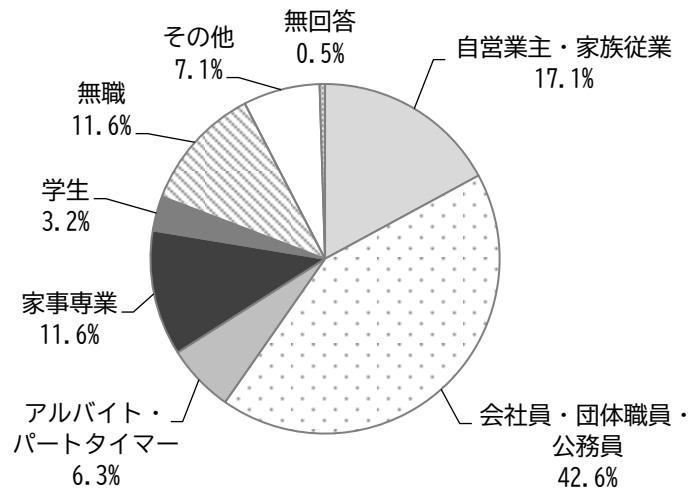
(n=380)



問3 ご職業についてお答えください。(○は1つ)

職業は、「会社員・団体職員・公務員」が42.6%と最も高く、次いで「自営業主・家族従業」が17.1%、「家事専業」「無職」が11.6%となっている。

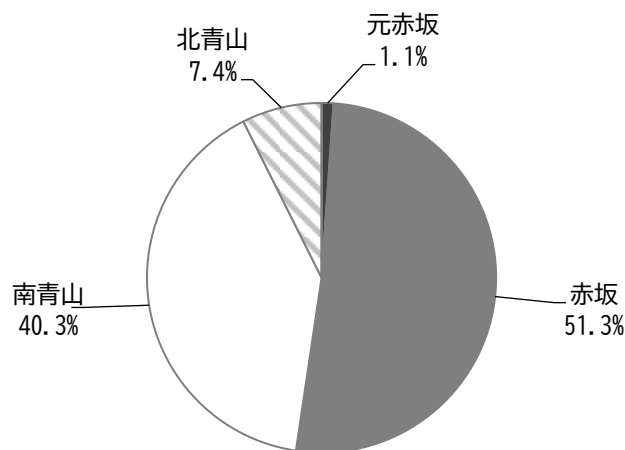
(n=380)



問4 現在お住まいの地域をお答えください。(○は1つ)

お住まいの地域は、「赤坂」が51.3%と最も高く、次いで「南青山」が40.3%、「北青山」が7.4%、「元赤坂」が1.1%となっている。

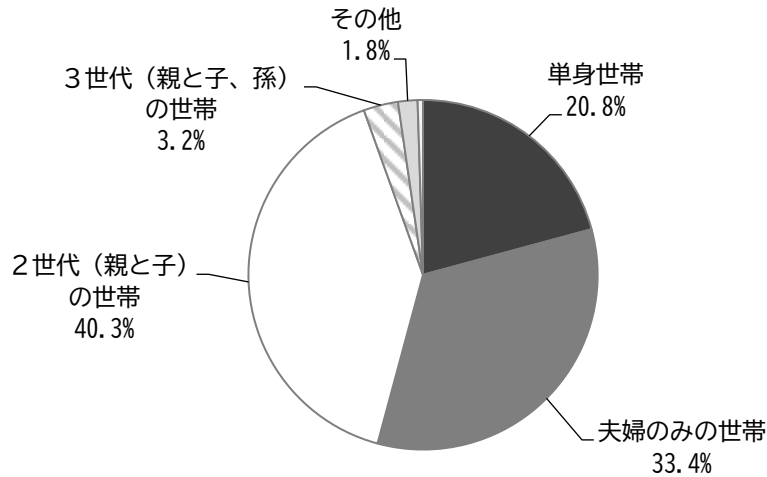
(n=380)



問5 家族構成についてお答えください。(〇は1つ)

家族構成は、「2世代(親と子)の世帯」が40.3%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が33.4%、「単身世帯」が20.8%となっている。

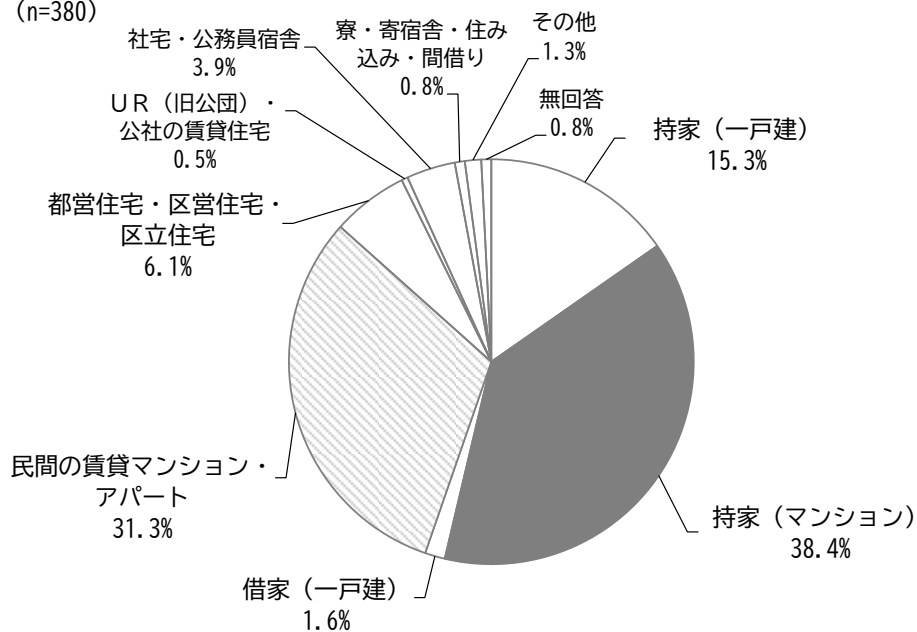
(n=380)



問6 現在のお住まいについてお答えください。(〇は1つ)

現在のお住まいは、「持家(マンション)」が38.4%と最も高く、次いで「民間の賃貸マンション・アパート」が31.3%、「持家(一戸建)」が15.3%となっている。

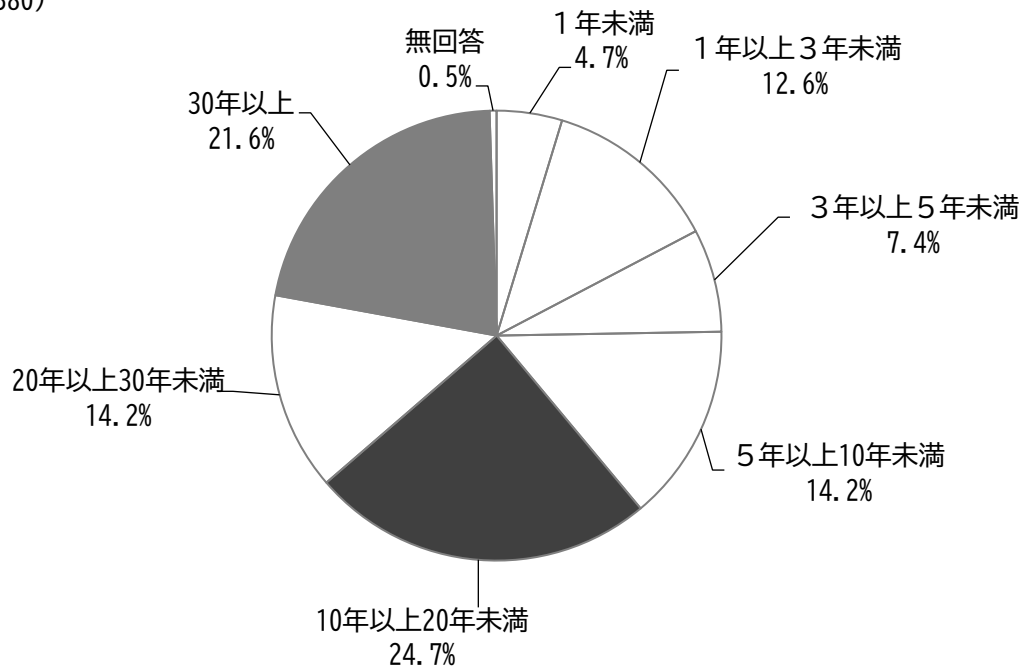
(n=380)



問7 現在の赤坂地区への通算居住年数についてお答えください。(○は1つ)

赤坂地区への通算居住年数は、「10年以上20年未満」が24.7%と最も高く、次いで「30年以上」が21.6%となっている。

(n=380)

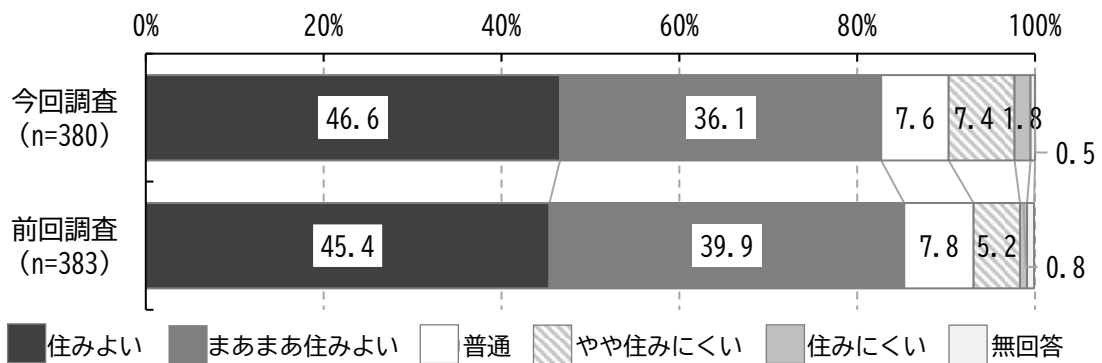
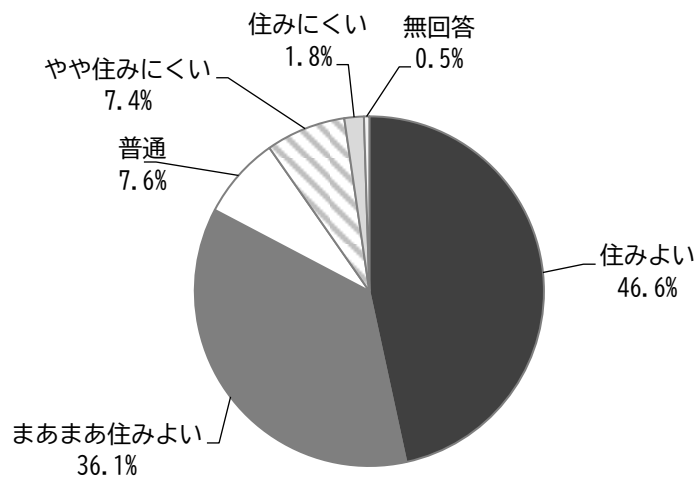


問8 赤坂地区の住みやすさについてどのようにお考えですか。(〇は1つ)

赤坂地区の住みよさについては、“住みよい”（「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計）が82.7%、“住みにくい”（「やや住みにくい」と「住みにくい」の合計）が9.2%となっている。

前回調査と比較してみると、“住みよい” “住みにくい”ともに大きな差異は見られない。

(n=380)



単位：%

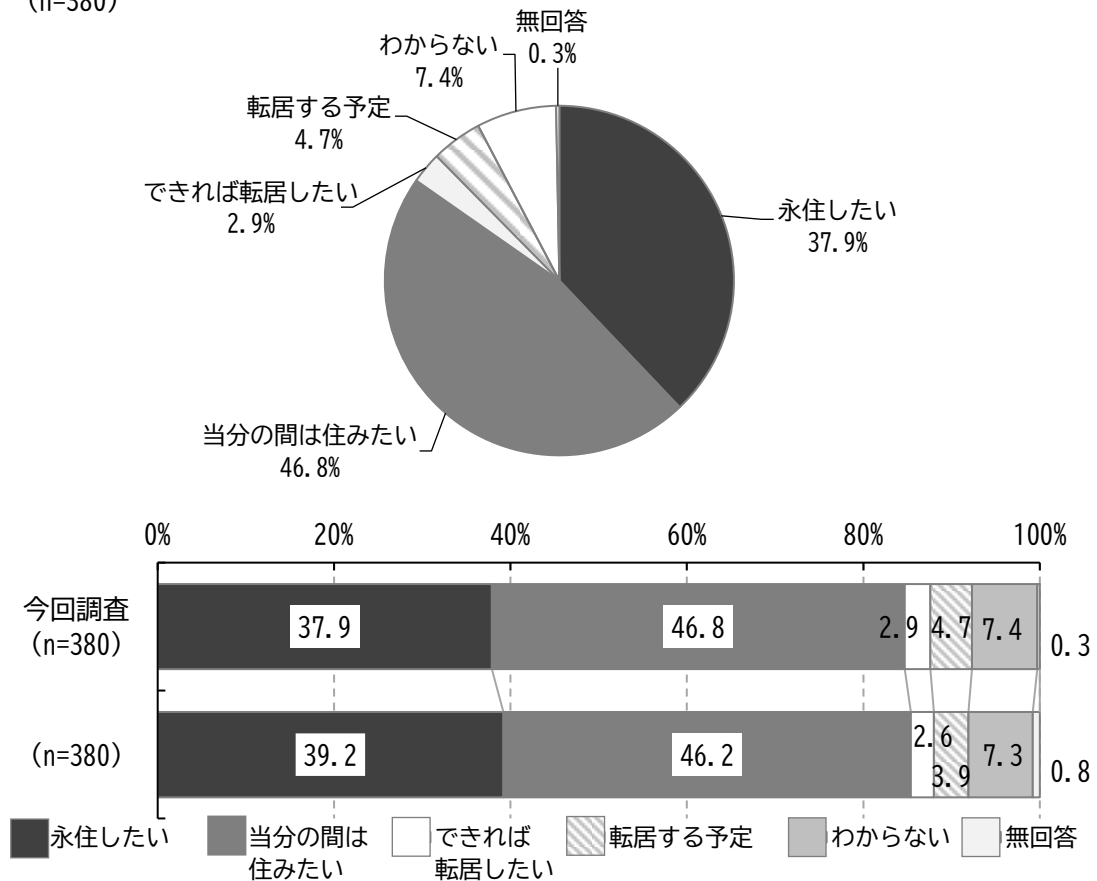
	“住みよい”	“住みにくい”
今回調査	82.7	9.2
前回調査	85.3	6.0

問9 今後の定住意向についてどのようにお考えですか。（○は1つ）

今後の定住意向については、“肯定層”（「永住したい」と「当分の間は住みたい」の合計）が84.7%、“否定層”（「できれば転居したい」と「転居する予定」の合計）が7.6%となっている。

前回調査と比較してみると、“肯定層” “否定層” とともにほぼ同様の結果となっている。

(n=380)



単位: %

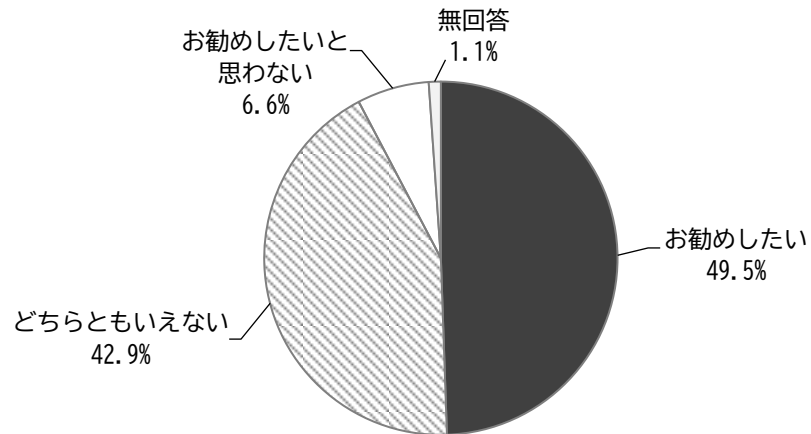
	“肯定層”	“否定層”
今回調査	84.7	7.6
前回調査	85.4	6.5

問10 知り合いや親戚に赤坂地区を訪れることをお勧めしたいと思いますか。

(○は1つ)

知り合いや親戚に赤坂地区を訪れることをお勧めしたいかについて、「お勧めしたい」が49.5%、「どちらともいえない」が42.9%、「お勧めしたいと思わない」が6.6%となっている。

(n=380)



問 11 お勧めしたい具体的な場所とその理由をお答えください。

【主な意見】

場所	理由
神宮外苑・銀杏並木	散歩に最適、紅葉や新緑の季節感が際立つ／絵になる並木道／都心でも緑が豊かでリラックスできる。
東京ミッドタウン、檜町公園	公園の緑と都市機能のバランスが秀逸／飲食・カフェ・美術館・イベントが充実／休憩スポットが多く回遊しやすい。
表参道	上品で洗練された街並み／治安が良く歩きやすい／オシャレな店が多く買い物や休憩で癒される。
南青山	おしゃれで静かな環境／治安・アクセス良好／周辺に生活施設と多様な飲食があり、住みやすい。
氷川神社	都心とは思えない静けさと豊かな緑／歴史・伝統を感じる都会のオアシス。

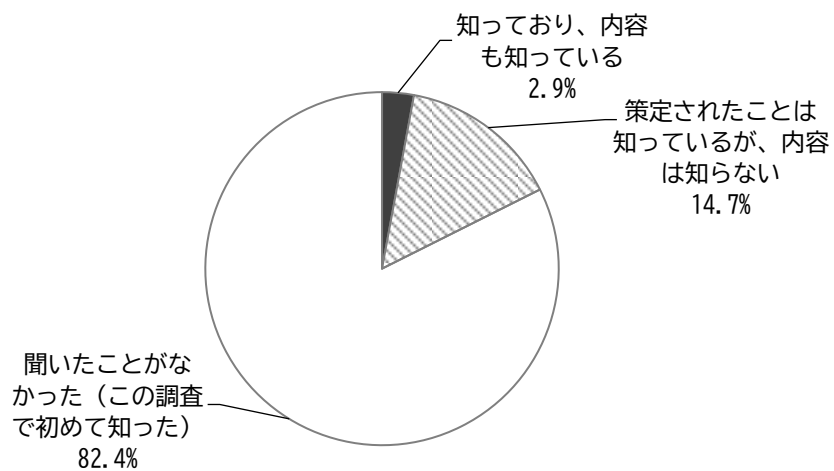
※主な意見は一部、表現や誤字脱字の修正、類似意見の集約、要約等をしています。以下、同様。

2 赤坂地区における取組について

問12 港区では、令和4（2023）年度に「赤坂地区版計画書（後期3か年）」を作成しています。ご存知でしたか。（○は1つ）

赤坂地区版計画書の認知状況について、認知度（「知っており、内容も知っている」と「策定されたことは知っているが、内容は知らない」の合計）は17.6%。内容理解度（「知っており、内容も知っている」）は2.9%となっている。

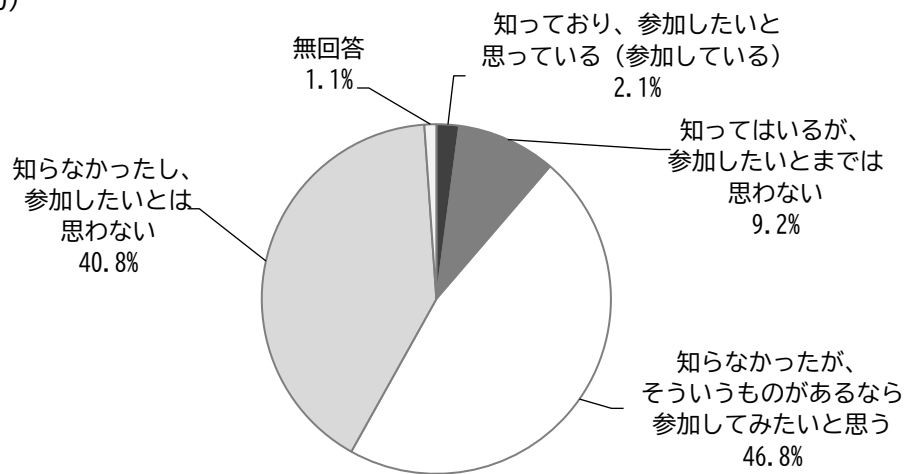
(n=380)



問 13 赤坂地区版計画書を策定する際、区民、在勤者、在学者で構成された区民参画組織が、区に対して提言を行っています。このような取組（区民参画組織）をご存知でしたか。（〇は1つ）

区民参画組織の認知度（「知っており、参加したいと思っている（参加している）」と「知ってはいるが、参加したいとまでは思わない」の合計）は 11.3%、参加意向（「知っており、参加したいと思っている（参加している）」と「知らなかったが、そういうものがあるなら参加してみたいと思う」の合計）は 48.9%となっている。

(n=380)

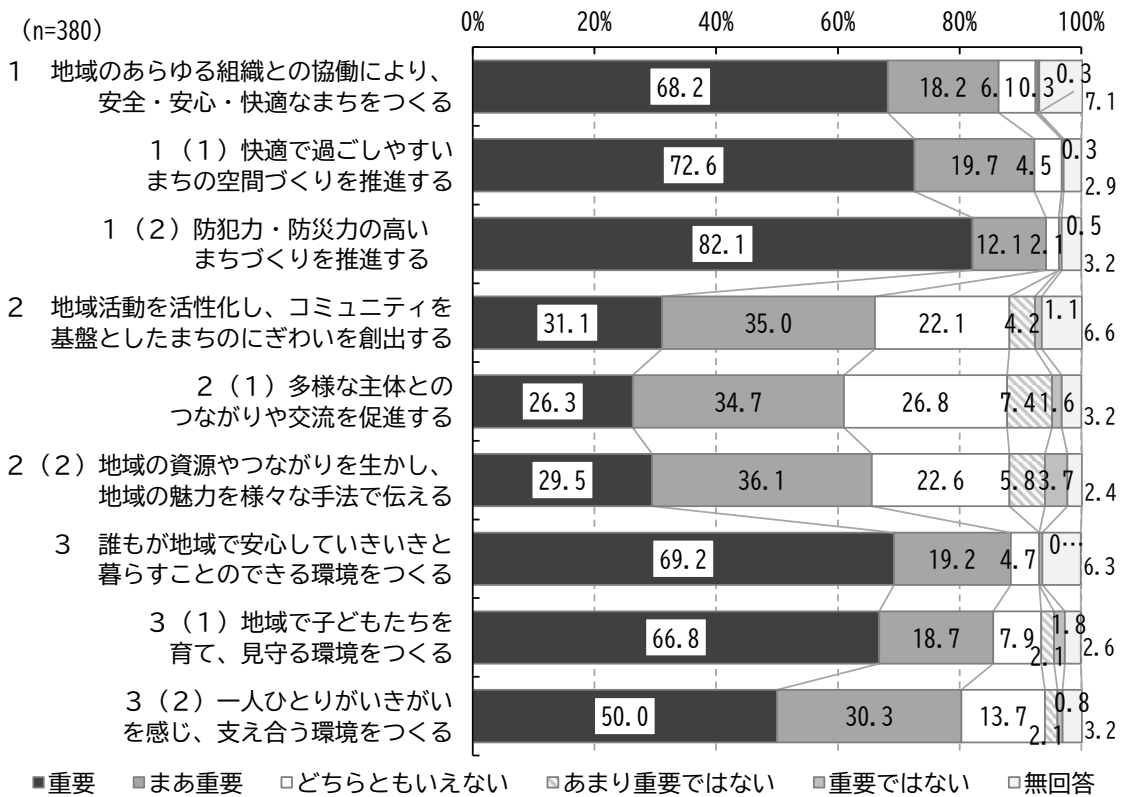


問 14 赤坂地区版計画書には3つの政策と6つの施策が位置づけられています。それぞれの重要度と満足度についてどのようにお考えですか。（それぞれ〇は1つ）

【重要度】

3つの政策について、“重要”（「重要」と「まあ重要」の合計）は、「3 誰もが地域で安心していきいきと暮らすことのできる環境をつくる」が88.4%と最も高くなっている。

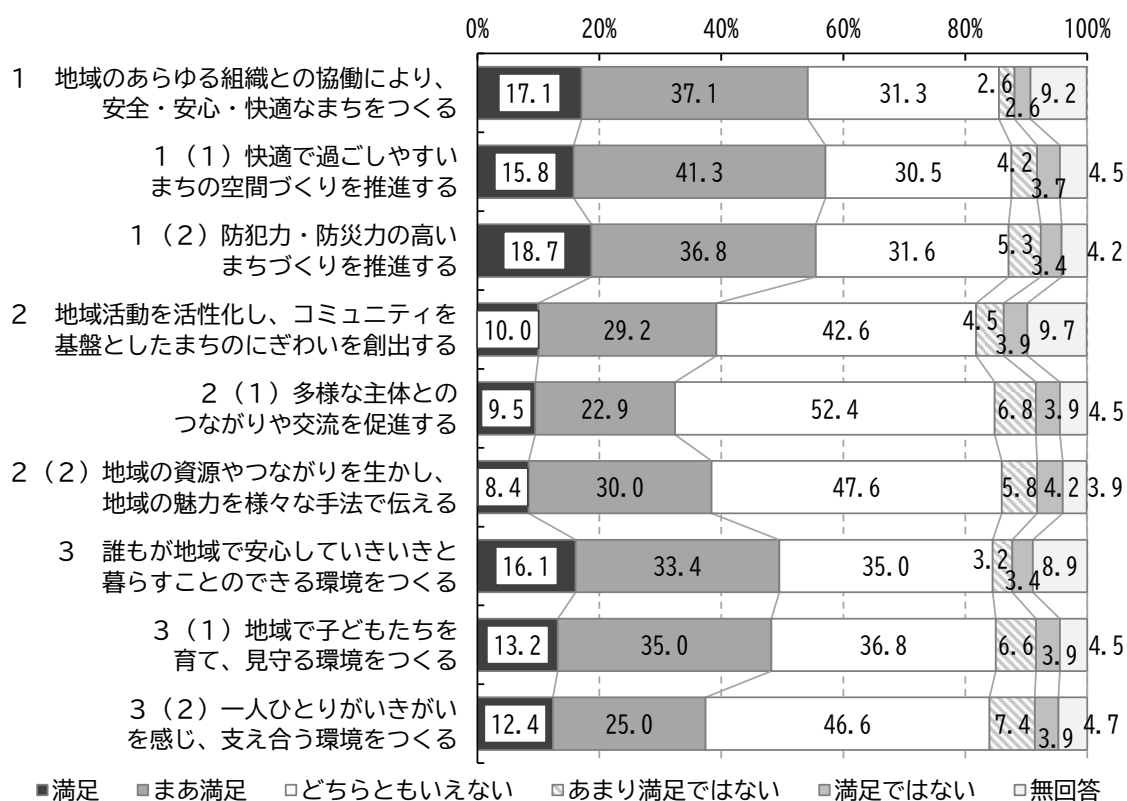
6つの施策について、“重要”（「重要」と「まあ重要」の合計）は、「1（2）防犯力・防災力の高いまちづくりを推進する」が94.2%と最も高く、次いで「1（1）快適で過ごしやすいまちの空間づくりを推進する」が92.3%となっている。



【満足度】

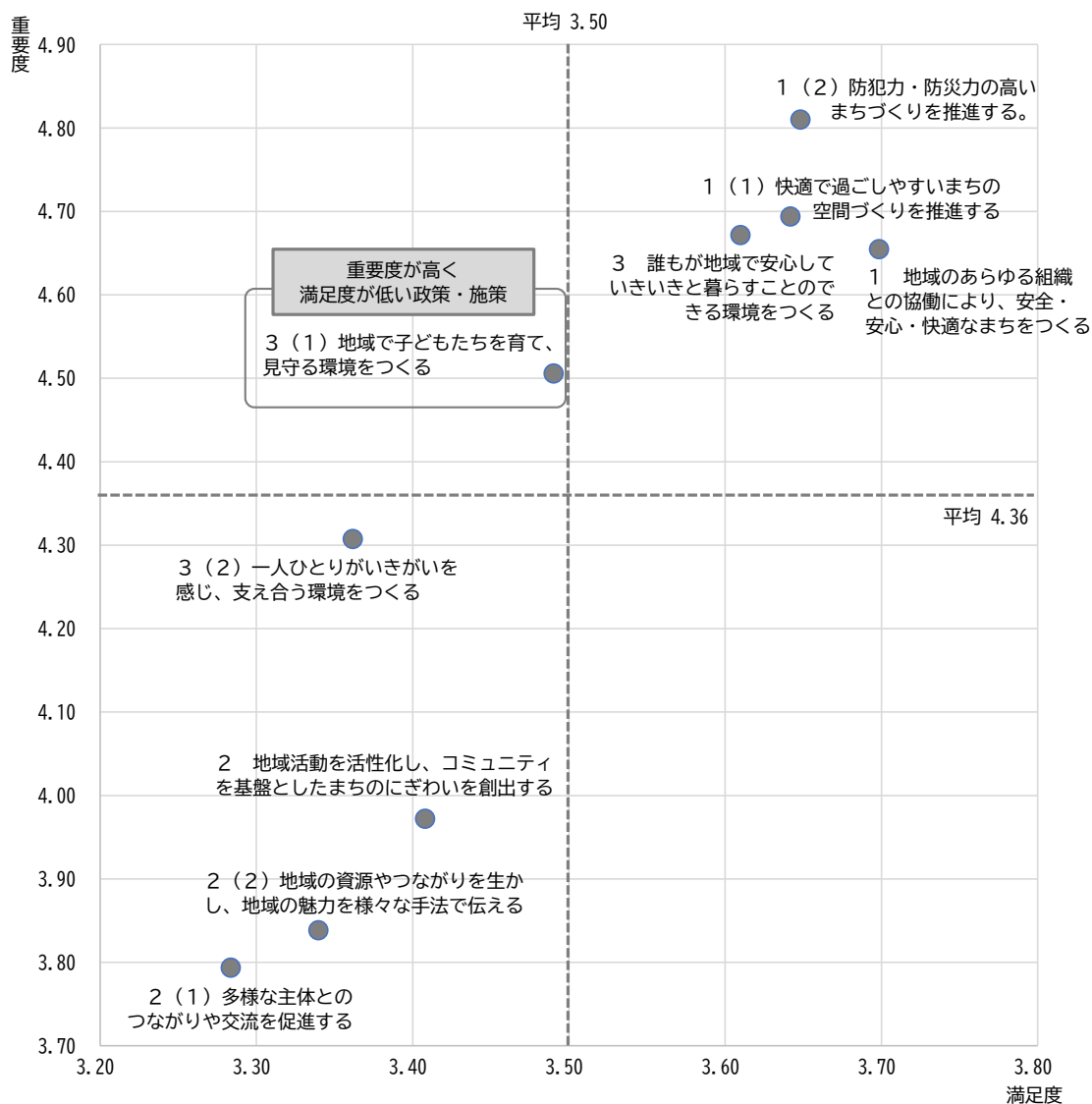
3つの政策について、“満足”（「満足」と「まあ満足」の合計）は、「1 地域のあらゆる組織との協働により、安全・安心・快適なまちをつくる」が54.2%と最も高くなっている。

6つの施策について、“満足”（「満足」と「まあ満足」の合計）は、「1（1）快適で過ごしやすいまちの空間づくりを推進する」が57.1%と最も高く、次いで「1（2）防犯力・防災力の高いまちづくりを推進する」が55.5%となっている。



【重要度と満足度のポートフォリオ分析】

「重要度が高く、満足度が低い」（＝優先度が高い）政策・施策は、「3（1）地域で子どもたちを育て、見守る環境をつくる」となっている。



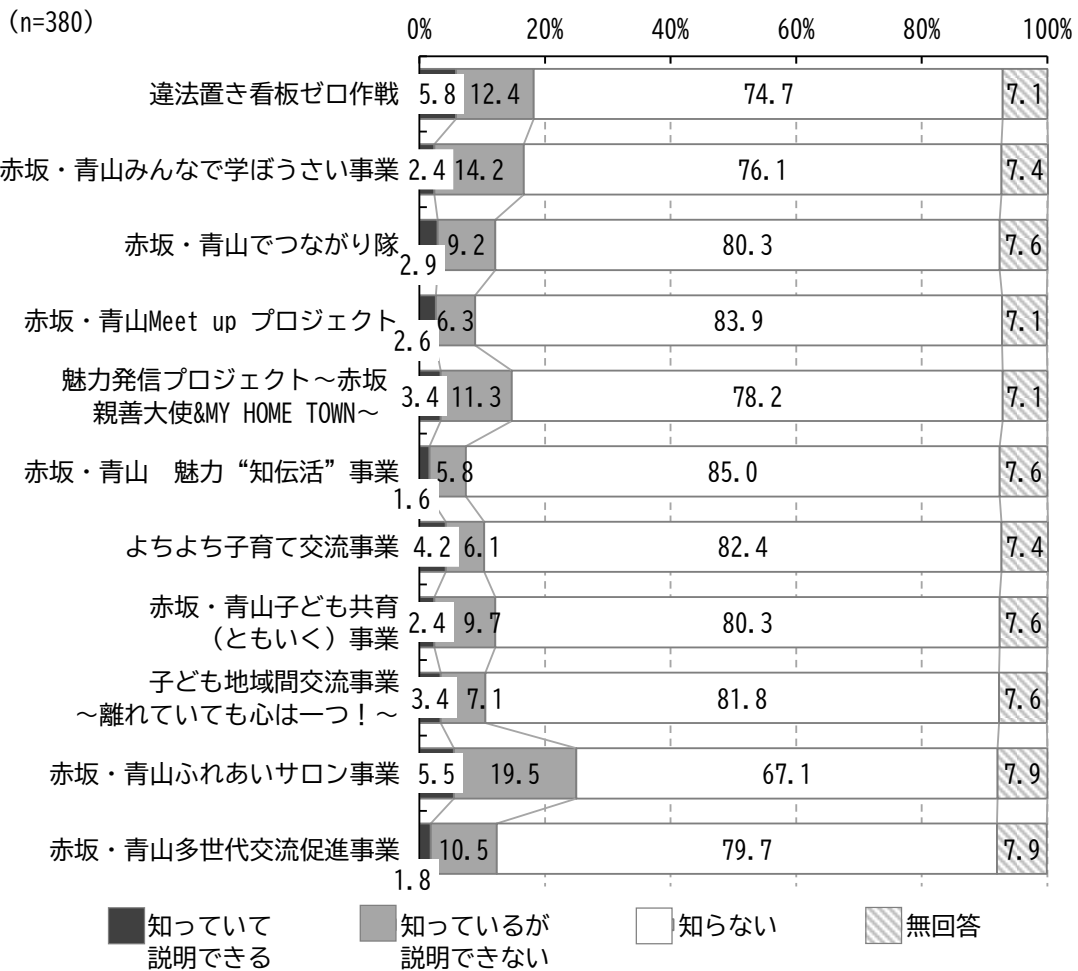
※重要度では、重要＝5、まあ重要＝4、どちらともいえない＝3、あまり重要ではない＝2、重要ではない＝1、満足度では、満足＝5、まあ満足＝4、どちらともいえない＝3、あまり満足ではない＝2、満足ではない＝1と仮定して、無回答を除く回答数に掛けた合計値を平均し指数を算出。

問 15 「赤坂地区総合支所が独自に取り組む地域事業」をご参照いただきお考えに近い項目を選んで○を付けてください。

【認知度】

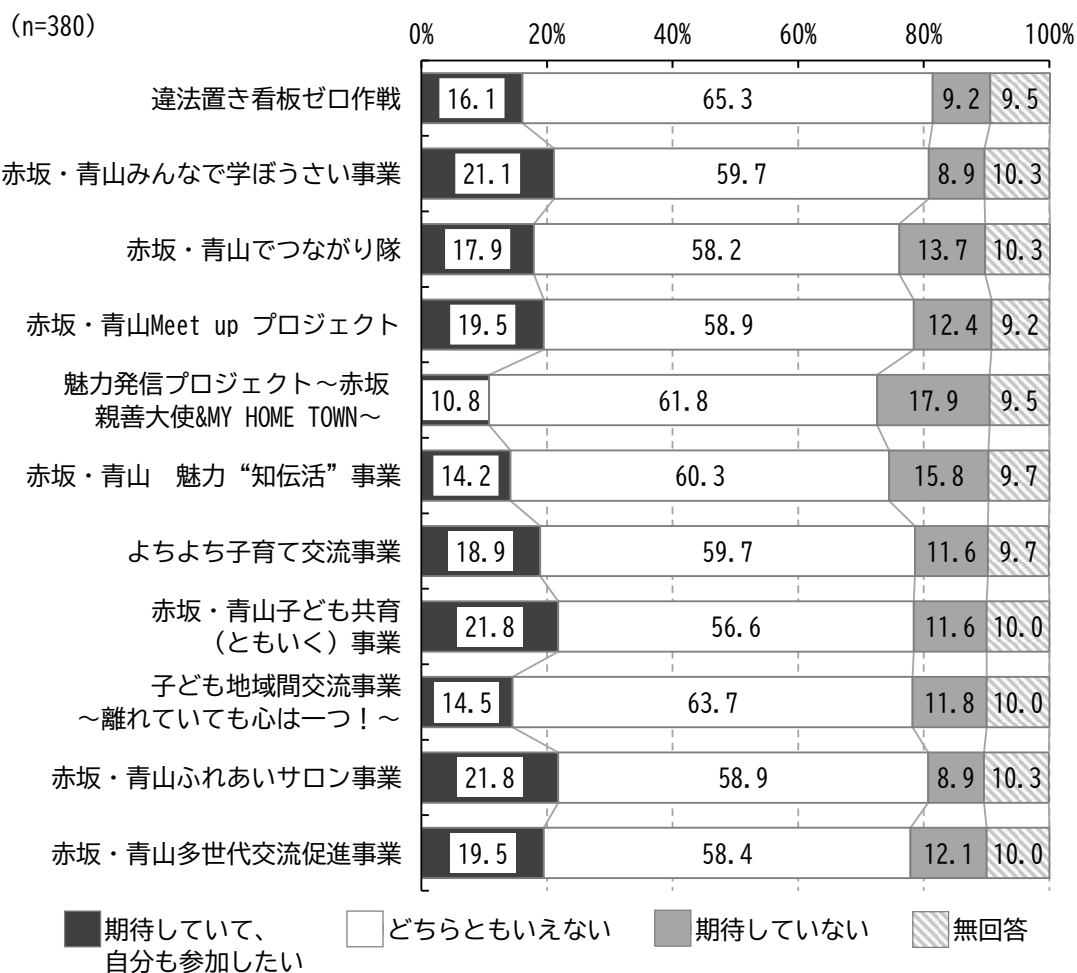
地域事業の認知状況について、認知度（「知っている説明できる」と「知っているが説明できない」の合計）では、「赤坂・青山ふれあいサロン事業」が25.0%と最も高く、次いで「違法置き看板ゼロ作戦」が18.2%、「赤坂・青山みんなで学ぼうさい事業」が16.6%となっている。

また、内容理解度（「知っている説明できる」）では、「違法置き看板ゼロ作戦」が5.8%と最も高く、次いで「赤坂・青山ふれあいサロン事業」が5.5%となっている。



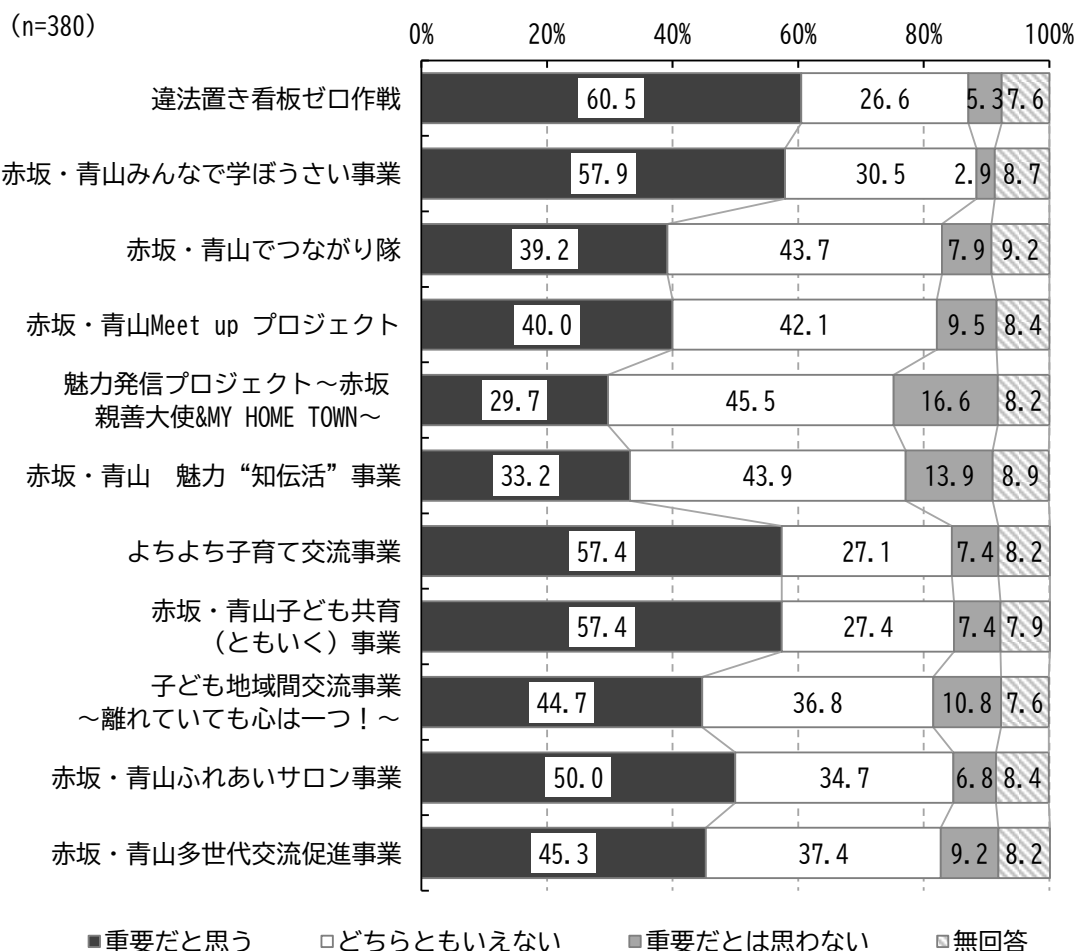
【期待度】

地域事業の期待度について、「期待していて、自分も参加したい」は、「赤坂・青山子ども共育（ともいく）事業」「赤坂・青山ふれあいサロン事業」が21.8%と最も高く、次いで「赤坂・青山みんなで学ぼうさい事業」が21.1%となっている。



【重要度】

地域事業の重要度について、「重要だと思う」は、「違法置き看板ゼロ作戦」が60.5%と最も高く、次いで「赤坂・青山みんなで学ぼうさい事業」が57.9%、「よちよち子育て交流事業」「赤坂・青山子ども共育（ともいく）事業」が57.4%となっている。



【主な意見】

違法置き看板ゼロ作戦

効果はあると思うが、違法看板が根本的に解消できているとはまだまだ言えないと思う。

違法看板だけでなく、治安や街の美化にも不安を感じている。

参加したい気持ちはあるが、参加方法がよく分からなくて踏み出せない。

違法看板に限らず、街全体の環境を良くして行ってほしい。

赤坂・青山みんなで学ぼうさい事業

子どもの防災教育や体験型のプログラムをもっと充実させてほしい。

事業の内容を、もっと分かりやすく広く知らせてほしい。

赤坂・青山でつながり隊

参加したい気持ちはあるが、どうしても参加しづらい状況とか心理的なハードルがある。

コミュニティ事業の意義は分かるが、本当に必要なのか正直よく分からない。

赤坂・青山 Meet up プロジェクト

実施期間が短くて、参加しづらいと思う。

生活習慣の違いから起こるトラブルを減らすためにも、こういう取り組みは必要だと感じている。

魅力発信プロジェクト～赤坂親善大使&MY HOME TOWN～

キャラクターの取り組み自体はいいと思うが、本当に必要なのか効果があるのか分からない。

そもそも認知度が低くて、名前や内容が分かりにくいので参加しづらいと感じている。

赤坂・青山 魅力“知伝活”事業

ICTの取り組みも、方向性や内容が住民のニーズと合っていないと感じている。

よちよち子育て交流事業

子育て支援は地域の未来のためにも大事だと思うし、子どもは本当に“地域の宝”だと感じている。

参加したい気持ちはあるが、自分のライフステージによって参加できるかどうかが変わってくると思う。

赤坂・青山子ども共育（ともいく）事業

子どもには、情報だけでなく、ちゃんと体を使った体験的な学びが大事だと感じている。

参加が必要かどうかとか関心の度合いは、家庭の状況やニーズによって違ってくると思う。

子ども地域間交流事業～離れていても心は一つ！～

他の地域との交流は子どもの成長にとってすごくよい経験になるので、もっとたくさんの子どもが参加できたらよいと思う。

参加が必要かどうかは、家庭の状況やニーズによって変わってくると感じる。

赤坂・青山ふれあいサロン事業

同じような講座が他にもあって内容が分かりにくい。

参加者が少なかったり、自分も参加できるか分からなかったりと、参加しやすさにばらつきがあると感じる。

赤坂・青山多世代交流促進事業

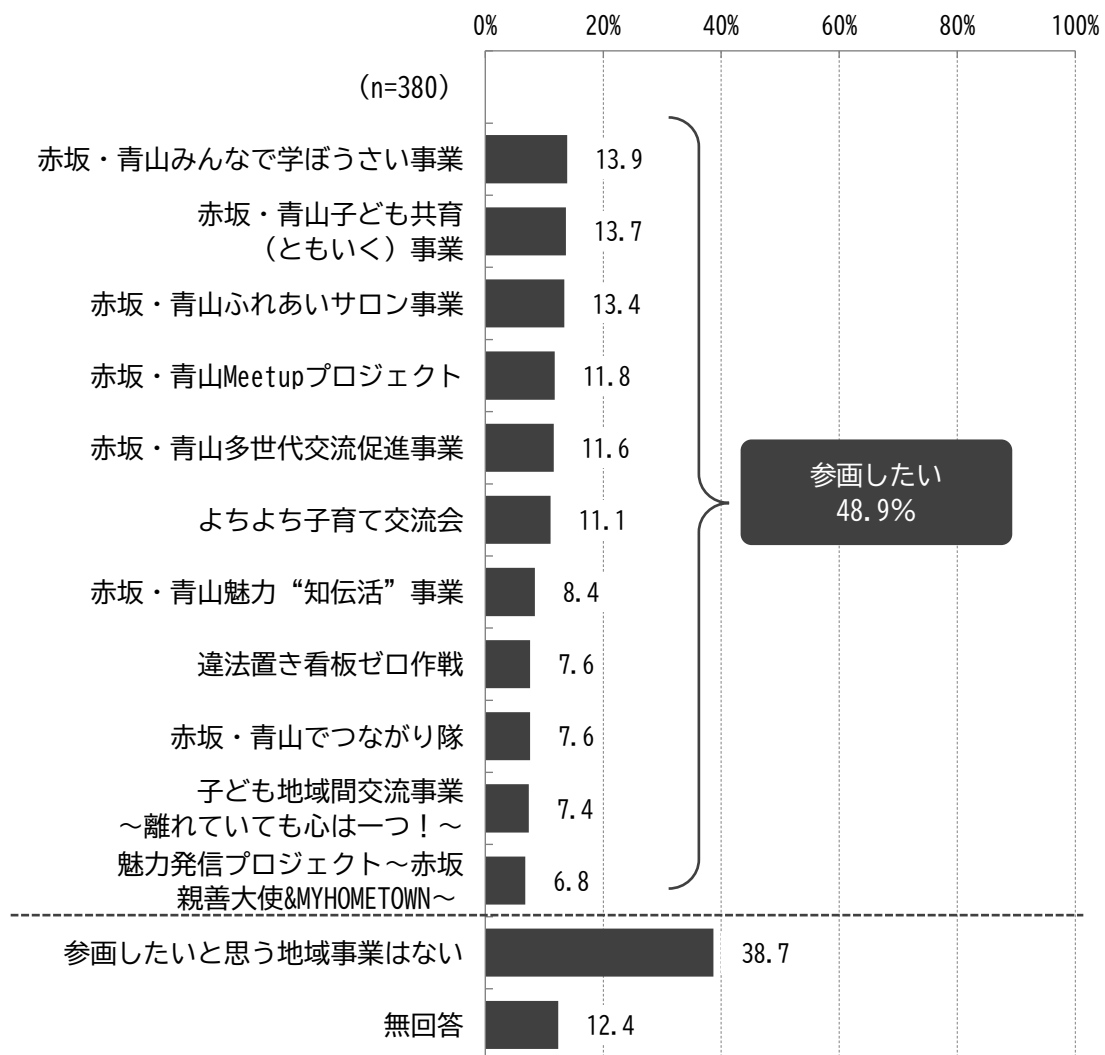
親が高齢になってきたので、多世代と交流することで生きがいになるかもしれない

イベントの周知が不十分で、実施されていることを知らなかった

問 16 赤坂地区の地域事業に関する計画づくりや実施について、参画したいと思うものがありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

地域事業に関する計画づくりや実施について、「参画したい」は48.9%、「参画したいと思う地域事業はない」は38.7%となっている。

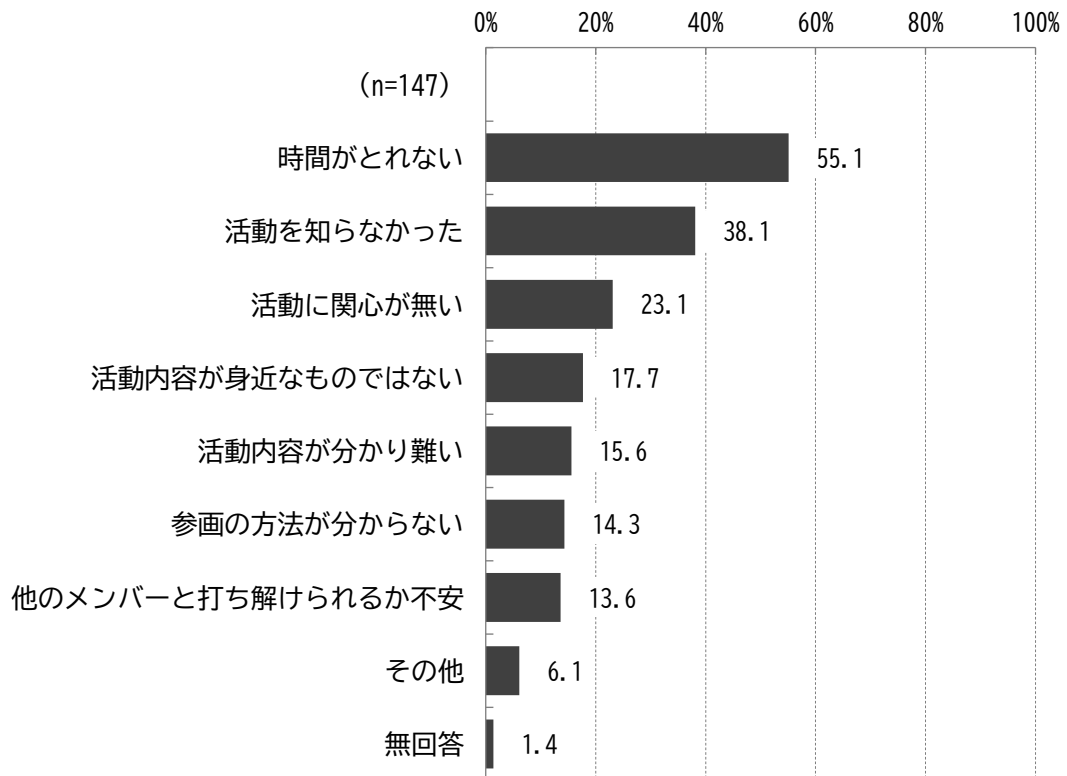
また、「参画したい」の中でみると、「赤坂・青山みんなで学ぼうさい事業」が13.9%と最も高く、次いで「赤坂・青山子ども共育（ともいく）事業」が13.7%、「赤坂・青山ふれあいサロン事業」が13.4%となっている。



※参画したい (%) = 100 - 「参画したいと思う地域事業はない」 (%) - 無回答 (%)。

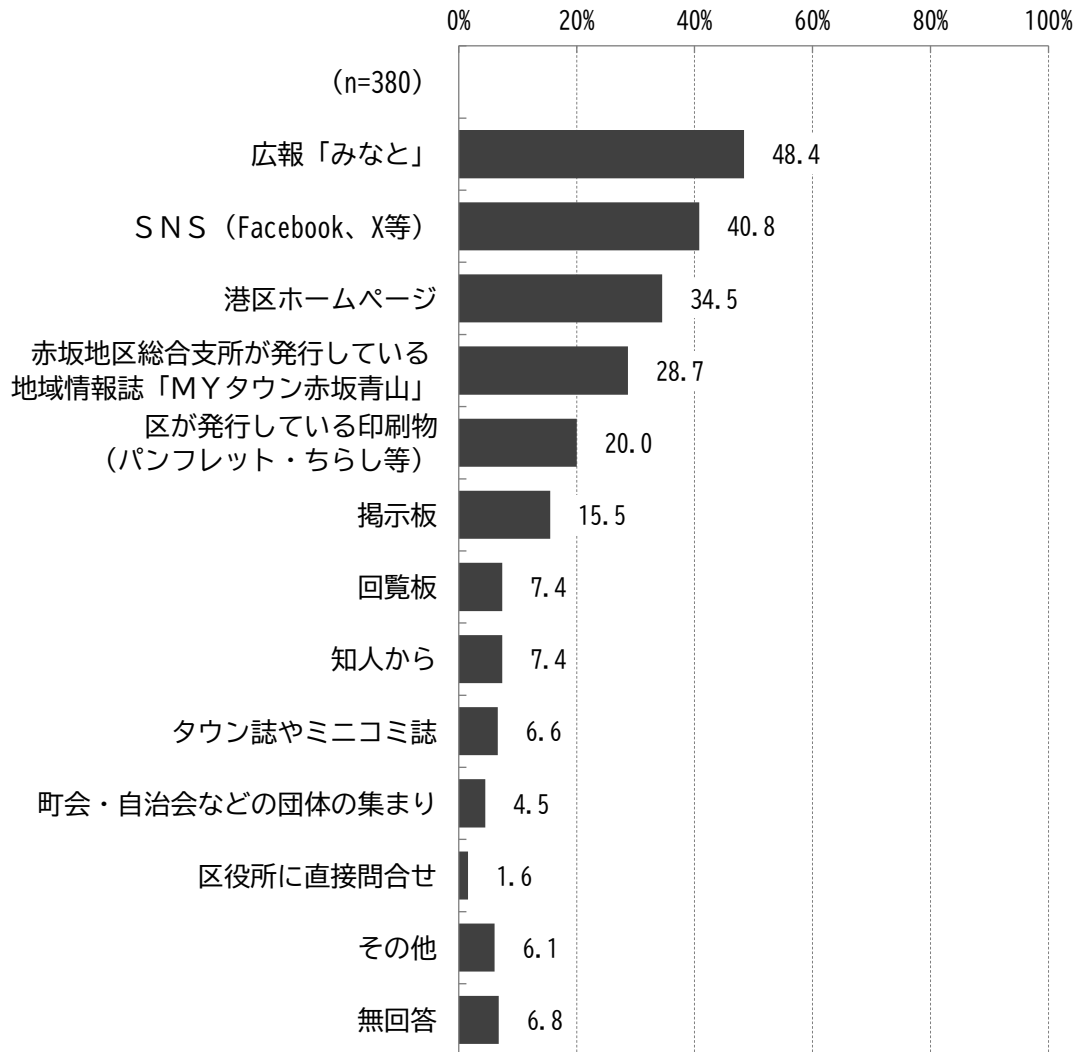
問 17 問 16 で、「参画したいと思う地域事業はない」とお答えになった方にお聞きします。その理由はどのようなものですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

「参画したいと思う地域事業はない」と回答した方にその理由をきいたところ、「時間がとれない」が 55.1%と最も高く、次いで「活動を知らなかった」が 38.1%、「活動に関心がない」が 23.1%となっている。



問 18 区や赤坂地区総合支所からの住民参加の呼びかけとして、どのような方法が適切であるとお考えですか。効果が高いと思うもの3つに○を付けてください。

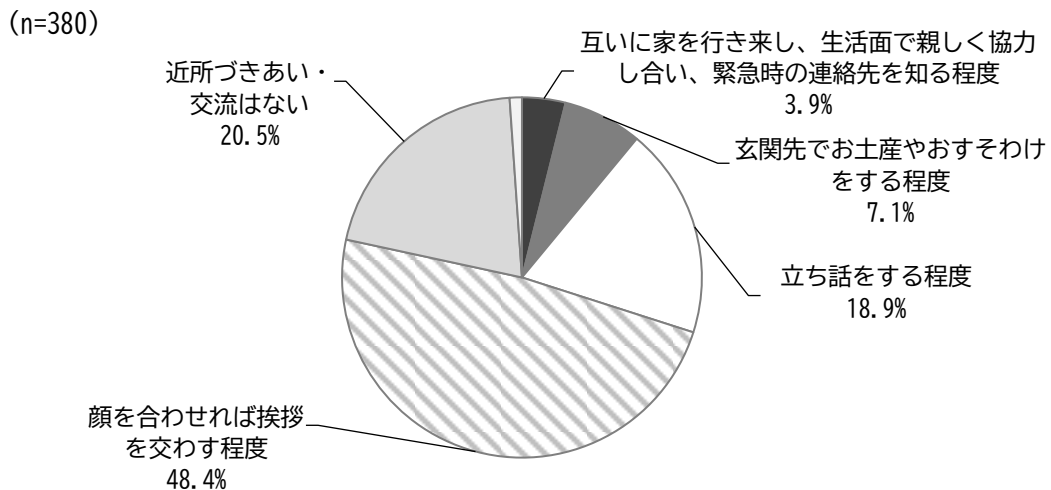
区や赤坂地区総合支所からの住民参加の呼びかけ方法について、「広報「みなと」」が48.4%と最も高く、次いで「SNS（Facebook、X等）」が40.8%、「港区ホームページ」が34.5%となっている。



3 あなたが生活する周辺の地域について

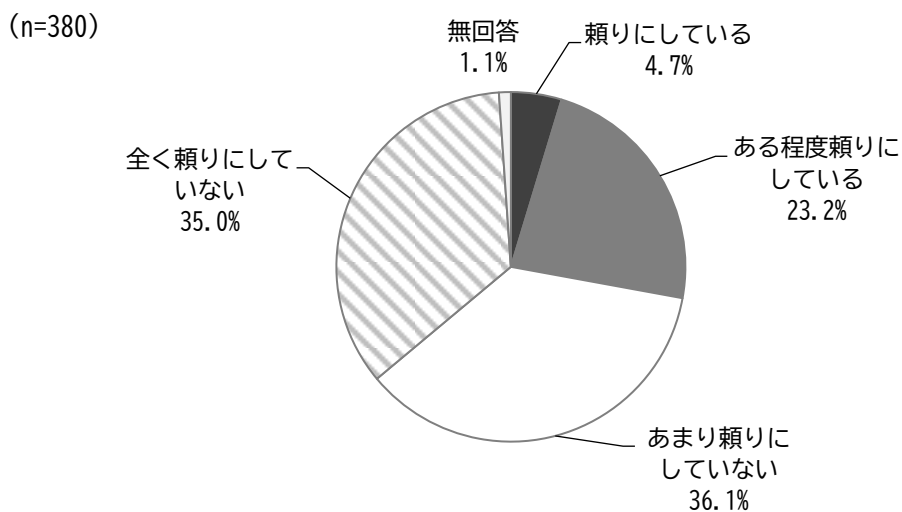
問 19 近所の住民との近所づきあい・交流はどの程度ありますか。(○は1つ)

近所の住民との近所づきあい・交流について、「顔を合わせれば挨拶を交わす程度」が48.4%と最も高く、次いで「近所づきあい・交流はない」が20.5%、「立ち話をする程度」が18.9%となっている。



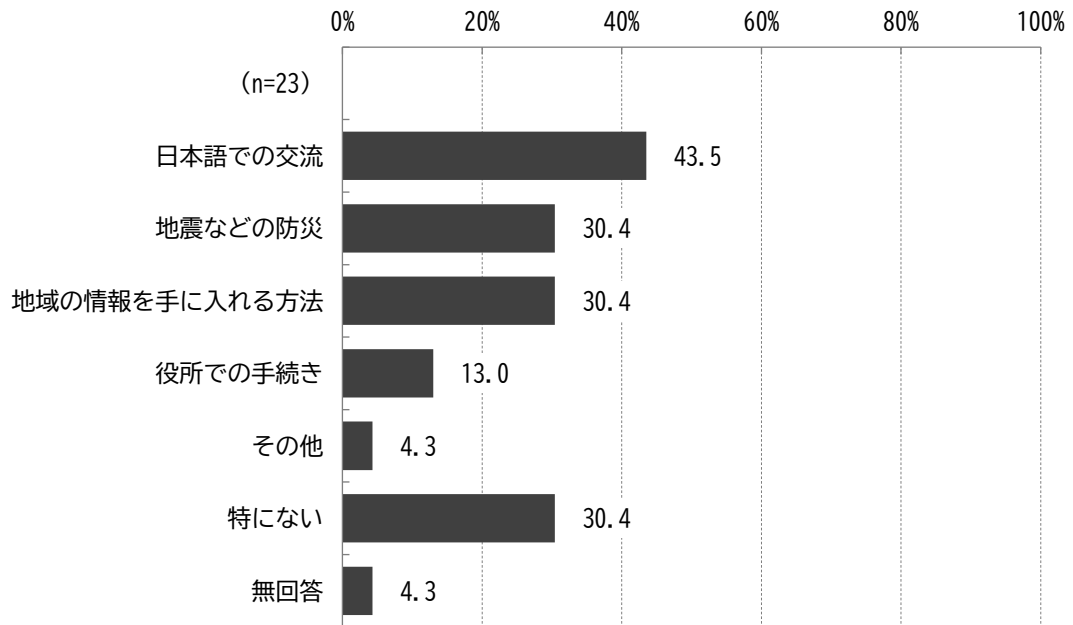
問 20 近所の方との信頼関係についてお答えください。(○は1つ)

近所の方との信頼関係については、“肯定層”（「頼りにしている」と「ある程度頼りにしている」の合計）が27.9%、“否定層”（「あまり頼りにしていない」と「全く頼りにしていない」の合計）が71.1%となっている。



問21 問2で「日本以外」と答えた方にお聞きします。日本での生活で困っていることはありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

国籍で「日本以外」と回答した方に日本での生活で困っていることをきいたところ、「日本語での交流」が43.5%と最も高くなっている。

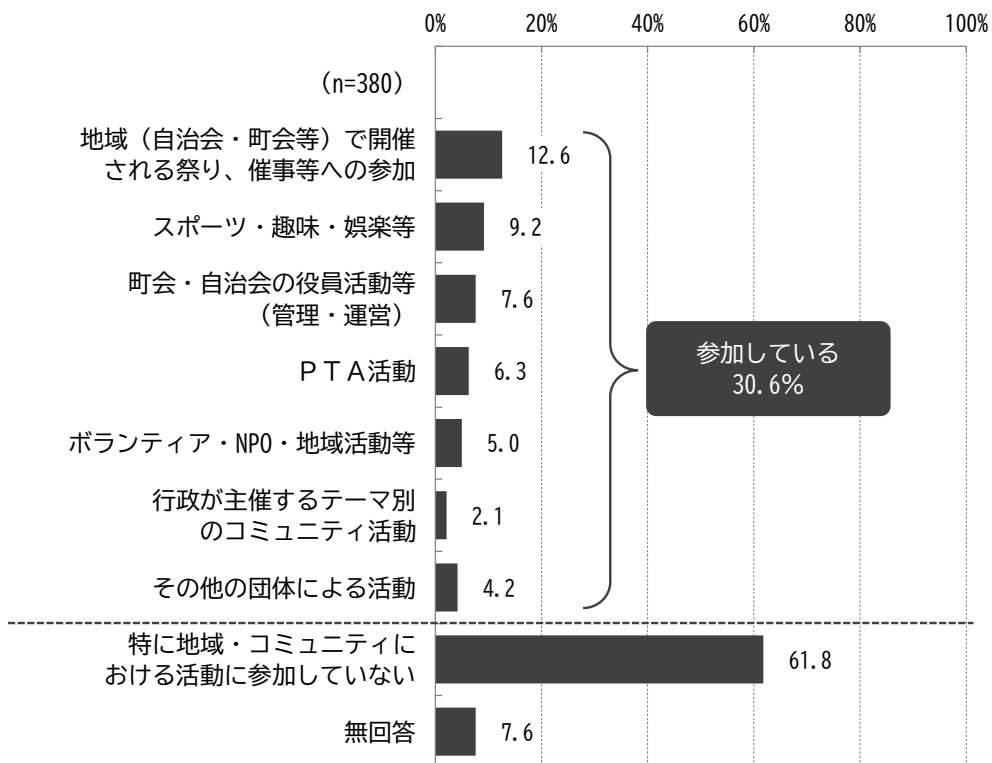


問22 地域・コミュニティにおける活動のうち、参加している活動について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

地域・コミュニティにおける活動のうち、「参加している」は30.6%、「特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない」は61.8%となっている。

また、「参加している」の中でみると、「地域（自治会・町会等）で開催される祭り、催事等への参加」が12.6%と最も高くなっている。

国籍別でみると、「参加している」は「日本」では30.9%、「日本以外」では26.1%となっている。



	n	地域（自治会・町会等）で開催される祭り、催事等への参加	スポーツ・趣味・娯楽等	町会・自治会の役員活動等（管理・運営）	PTA活動	ボランティア・NPO・地域活動等
日本	356	13.5	9.0	7.9	6.5	4.8
日本以外	23	0.0	13.0	4.3	4.3	8.7

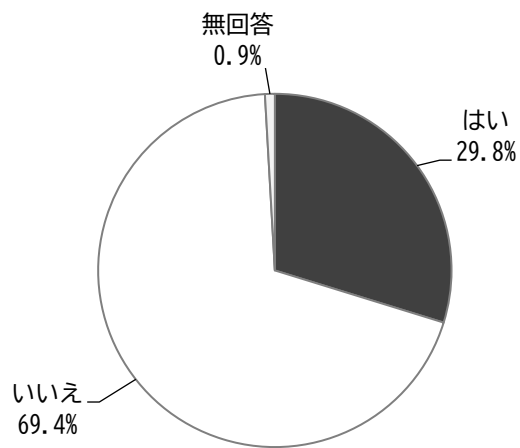
	n	その他の団体による活動	行政が主催するテーマ別のコミュニティ活動	特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない	無回答	参加している
日本	356	4.2	2.2	62.4	6.7	30.9
日本以外	23	4.3	0.0	56.5	17.4	26.1

※参加している (%) = 100 - 「特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない」 (%) - 無回答 (%)。

問 23 問 22 で、「特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない」とお答えになった方にお聞きします。地域活動やまちづくりの活動に参加したいと思っていますか。(○は1つ)

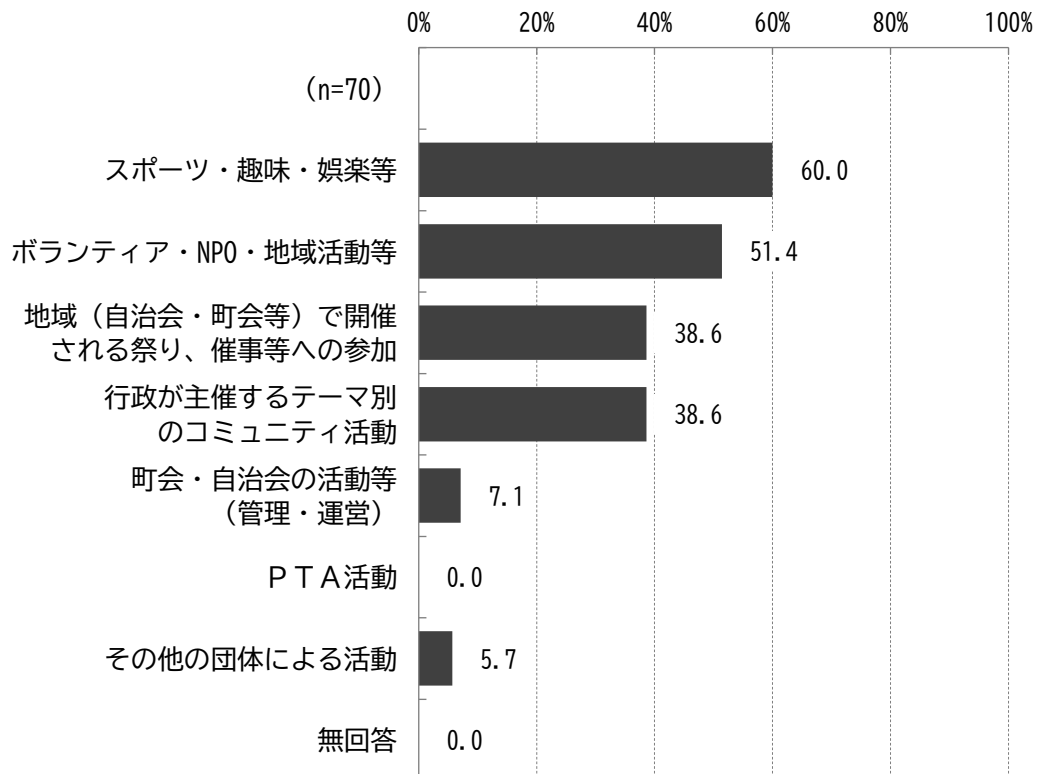
「特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない」と回答した方に地域活動やまちづくりの活動に参加したいかをきいたところ、「はい」が29.8%、「いいえ」が69.4%となっている。

(n=235)



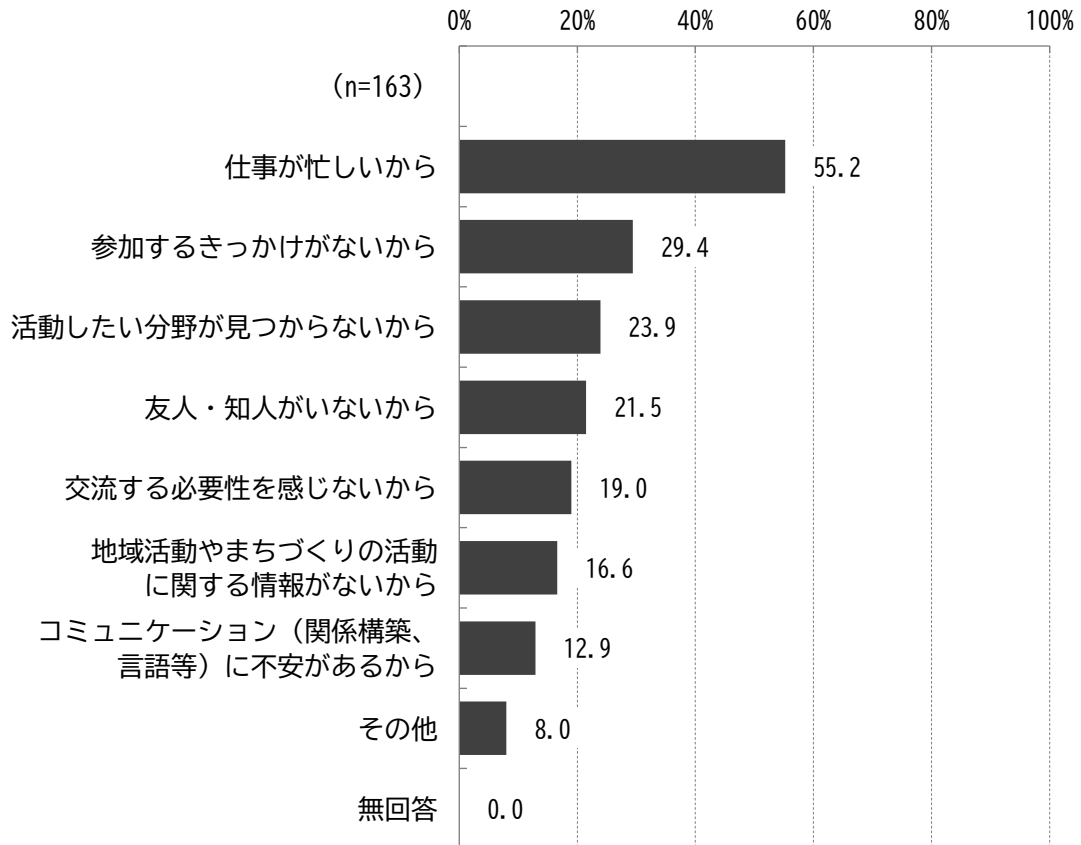
問 24 問 23 で「はい」と答えた方にお聞きします。どのような地域活動やまちづくりの活動に参加したいと思っていますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

地域活動やまちづくりの活動に参加したいかで「はい」と回答した方にどのような地域活動やまちづくりの活動に参加したいかをきいたところ、「スポーツ・趣味・娯楽等」が60.0%と最も高く、次いで「ボランティア・NPO・地域活動等」が51.4%となっている。



問 25 問 23 で「いいえ」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由ですか。当
てはまるもの全てに○を付けてください。

地域活動やまちづくりの活動に参加したいかで「いいえ」と回答した方にその理由をきいたところ、「仕事が忙しいから」が 55.2%と最も高く、次いで「参加するきっかけがないから」が 29.4%となっている。

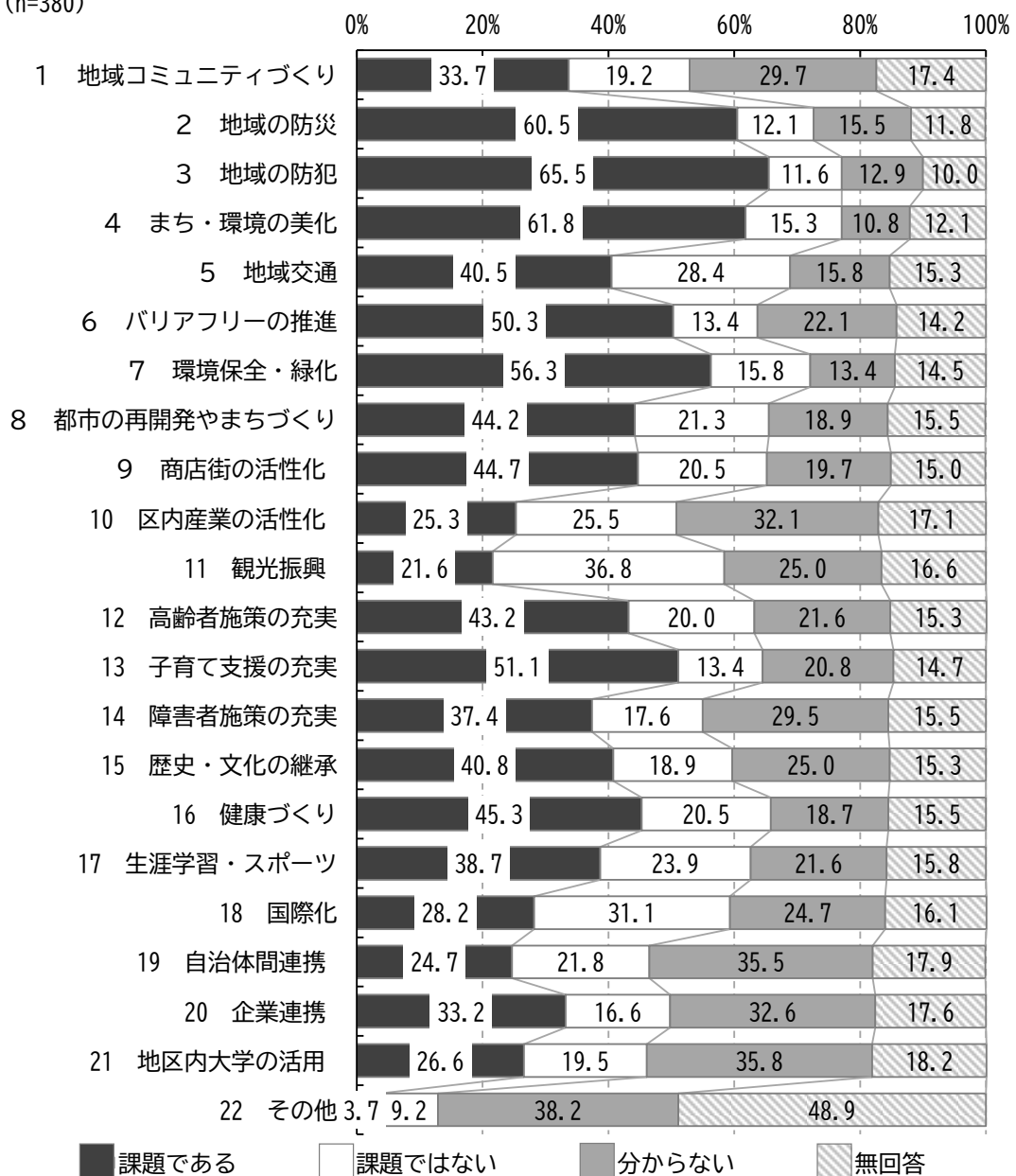


4 将来のまちづくりについて

問 26 お住まいの地域にとって課題とお考えになっていることは何ですか。当てはまるテーマ全てに○を付け、具体的なご意見をご記入ください。【課題の有無】

お住まいの地域にとってそれぞれ課題について、「課題がある」は、「3 地域の防犯」が 65.5%と最も高く、次いで「4 まち・環境の美化」が 61.8%、「2 地域の防災」が 60.5%、「7 環境保全・緑化」が 56.3%、「13 子育て支援の充実」が 51.1%、「6 バリアフリーの推進」が 50.3%となっている。

(n=380)



【主な意見】

1 地域コミュニティづくり

観光客や外国人の増加で、ゴミやマナーの悪さが目立ち、治安や美化が以前より気になるようになった。地域開発が住民不在で進んでいるように感じており、この先どうなってしまうのか大きな不安がある。近所づきあいやコミュニティが希薄で、町会も高齢の限られた人だけで成り立っているイメージがある。日常の買い物環境が十分ではなく、スーパーや生活用品の店が少なく不便を感じている。高齢者や単身者向けの相談先が分かりにくく、安全面の不安に対してもっと寄り添った支援が必要だと思う。防災・防犯・交通インフラの面で、危険箇所や改善点が多く、継続的な対策をお願いしたい。

2 地域の防災

地震や水害に備える体制をもっと強化してほしい。年1回の防災訓練は効果を感じるので継続しつつ、回数や内容を増やして具体的な方法もはっきり示してほしい。避難所の受け入れ体制や災害時マニュアル、非常用トイレの整備を進めて、住民にも分かりやすく周知してほしい。高齢者や古い民家が多い地域でもあるため、火災防止のアラートや見守り体制を強化し、急な事態にも対応できるようにしてほしい。自主的に行動できる仕組みづくりが重要で、避難所の防災力強化や夜回りの頻度向上など、地域全体で守り合う体制を整えたい。避難時に危ない歩道の凹みの修繕や路上喫煙による火災リスクへの注意喚起など、日常から安全に暮らせる環境整備を進めていきたい。

3 地域の防犯

屋外の防犯カメラをもっと増やしたり高性能化したり、パトロールカーの巡回回数を増やすなど、具体的な手段を明確にして進めてほしい。外国人観光客や訪問者が非常に多い地域なので、怖い思いをしないよう、地域としてしっかり防犯対策を講じる必要があると感じる。子どもがひとりでも歩けるような街づくりや、自転車の危険走行・放置の対策、交番撤去後の防犯体制強化など、生活に根ざした安全環境を整えてほしい。夜回りの頻度アップや泥棒対策など、住民と行政が協力して地域防犯を最優先で取り組み、「世界で一番美しい町」を目指したい。

4 まち・環境の美化

街中でのゴミやタバコ、犬のフンなどの放置が目立ち、ゴミ出しルールの周知やマナー向上が必要だと感じる。公園や道路の美化を維持するため、清掃活動の継続や「世界で一番美しい街」を目指す意識が大切だと思う。ねずみやハトのフン、犬のフン放置など、動物に関わる衛生対策をより強化してほしい。

外苑前の駐輪取り締まりや、南青山の狭い道路の改善・バリアフリー化など交通環境の整備を進めてほしい。

高層ビルによる日射の遮りや排水口の匂いが気になる一方で、青山・赤坂の美化や緑の多い環境を守りたいと思う。

5 地域交通

ちいばす（ミニバス）はとても便利なので、ぜひ維持・拡充してほしい。

道が狭く歩きづらいところが多いので、道路の拡幅やバリアフリー化を進めてほしい。

観光客や路駐が多く、歩行者・自転車・車が入り乱れてスムーズに動けないのが気になっている。

歩行者の信号無視、旅行者のタクシー駐車など、日常の交通マナーが心配。

赤坂から芝・神谷町方面へのアクセス改善など、人が働きやすいインフラづくりを大事にしてほしい。

6 バリアフリーの推進

エレベーターやスロープなど、バリアフリー設備はさらに推進してほしい。

坂が多く、車いすで入れないお店も多いため、高齢者や障害のある方が動きやすい地域にしてほしい。

青山一丁目駅や青山陸橋など、駅周辺のEV・エスカレーター不足が特に気になる。

道が狭くデコボコが目立つので、歩きやすい歩道整備を進めてもらいたい。

新しく建てる建物については、バリアフリーを標準として導入してほしい。

7 環境保全・緑化

ビルが増えて緑が減っているので、緑化を維持・拡充し、コンクリートジャングルにしないほしい。

公園が少ないので、もっと増やして気持ちよく過ごせる環境にしてほしい。

街路樹や並木道は、温暖化対策としても大事なので大切に守り続けたい。

南青山の狭い道や歩きにくさも含め、自然と都市のバランスを考えた整備をしてほしい。

見た目だけでなく、自然の循環を大切にす緑のまちづくりを進めてほしい。

8 都市の再開発やまちづくり

これ以上の高層ビル開発は不要・過度だと感じており、見直してほしい。

再開発によって均質化しすぎているので、街らしさや安全性を重視してほしい。

公園が少ないので、開発するなら緑やオープンスペースを増やしてほしい。

廃墟ビルの改善や、スーパーの誘致など、生活に必要な機能を整えてほしい。

南青山周辺の狭い道やバリアフリーの不十分さを解消する、地域に合った開発を望む。

9 商店街の活性化

日用品や衣料品、生鮮品を買えるスーパーや総合店が少なく、とても不便に感じている。

コンビニやファストフードが増える一方で、面白みに欠ける商店街になっているのが気になる。

本屋や文具店、図書館など、生活文化に必要な施設をもっと増やしてほしい。

店の入れ替わりが激しく落ち着かないので、魅力ある商店街づくりを進めてほしい。

繁華街の一部が反社会的勢力の影響を受けている感じがして、治安面も含めて改善してほしい。

10 区内産業の活性化

大型スーパーなど生活に直結する業種が不足している。

生活雑貨店など大衆向けの店がない。

DIYなど住民が利用しやすい店・サービスの充実を望む。

11 観光振興

すでに観光客が多く、これ以上の観光振興は不要。

観光客の多さで駅まで歩けないことがあり、生活に支障が出ている。

観光場所が分かりづらいので、案内や情報発信の工夫が必要。

12 高齢者施策の充実

高齢化が進んでおり、生活や経済面で苦しんでいる人が増えている。

施設や支援の充実、終活支援などをもっと進めてほしい。

減税など、経済面の支援もしてほしい。

高齢者の問題は1人で解決できないため、地域みんなで支える仕組みが必要だと感じている。

13 子育て支援の充実

現状の子育て支援は比較的充実している。

子どもが安全に遊べる場所が少なく、屋外でもボール遊びできる場所が欲しい。

商業施設や子ども向けの施設がもっとあると楽に過ごせる。

少子化対策はとても重要で、赤ちゃんや子育て家庭に優しい街を望んでいる。

14 障害者施策の充実

健常者と同じように過ごせる様にして欲しい。

15 歴史・文化の継承

歴史や文化の情報発信が弱く、もっと告知してほしい。

江戸文化などを楽しく学べる機会を増やしてほしい。

美術館など文化施設が少なく、文化を身近に感じにくい。

歴史のある街として、その価値を大切にしてほしい。

16 健康づくり

小学校のプールやグラウンドを自由に使えると良いと思う。

赤坂のヘルシーナをもっと活用すべき。

17 生涯学習・スポーツ

高齢者向けの生涯学習の機会を増やしてほしい。

開催場所やタイミングが悪く、参加しづらい。

青山地区でももっと開催してほしい。ほとんどが遠くて行けない。

18 国際化

この地区の良さを世界にアピールしつつ、安心してコミュニケーションが取れる場があると良いと思う
マナーのない外国人が増えているという不安もあるので、国際化に伴うルールやマナーの周知をしっかりと行ってほしい。

19 自治体間連携

犯罪防止や防犯の観点では自治体間の連携が重要だと思う。

20 企業連携

災害時や防災対策には企業連携がとても役立つと思う。

21 地区内大学の活用

大学のスポーツ施設を地域で共用できると良い。

社会人講座など、学びの場として活用してほしい。

22 その他

非課税世帯以外の高齢者にも経済的支援を望む。

食料品の調達に難しく、スーパー不足が大きな課題。

図書館が少なく、南青山や赤坂の図書館をもっと充実させてほしい。

表参道駅のエレベーター・エスカレーター不足している。

歩道の狭さなど日常の安全面が気になる。

赤坂地区総合支所の取り組みやその他の地域の課題についてなど、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【主な意見】

主な内容	意見の概要
行政の周知不足 情報が届かない	地域の取り組みや施設、事業の案内が全く届いておらず、SNS や会報誌などでもっと分かりやすく、確実に住民へ情報を届けてほしいと思う。アンケートも難解で分厚く、途中で断念してしまうほどなので、もっと住民目線の発信にしてほしい。
防犯・安全対策	路上喫煙や外国人観光客の無秩序な振る舞い、違法駐輪・駐車、タバコのポイ捨てなど見ていて不安になる場面が多いので、もっと厳しい標識や取り締まりをして、安全な街に戻してほしい。昔の平和な港区がどんどん崩れていくようで心配だ。
ゴミ問題・環境美化	赤坂・青山はゴミ放置や飲食店の生ゴミの扱い、私道へのポイ捨てなどが本当にひどく、住民が毎日掃除している状況をどうかしてほしい。公園のルールばかり厳しくするのではなく、飲食や喫煙を適切にできる場所を区として用意してほしい。
高齢者支援・生活の厳しさ	年金生活者の生活は物価高で本当に苦しいので、非課税世帯だけでなく広く高齢者へ経済的支援を考えてほしい。また、高齢者が急に介護が必要になってもスムーズに動けるように、事前の周知や案内をもっと丁寧にしてほしい。
子育て・教育環境の改善	屋内で遊べる児童館や居場所が少なく、もっと充実してほしい。発達障害児のコミュニティや親同士が支え合える仕組みも必要。学校の先生の人数不足も心配で、高齢者による見守りなど新しい連携の形を検討してほしい。
地域の文化・歴史・芸術	美術館や図書館が少なく、文化的な施設の不足を大きく感じる。赤坂・青山は歴史と文化のある街なのに情報発信が弱く、もっと発見しやすい形にしてほしい。イベントや芸術家の活動支援があれば、街の魅力がぐっと高まると思う。
交通環境・道路	道がガタガタ、狭い、歩きにくい、路駐だらけ、と交通環境は最悪だと感じている。自転車も使いづらいのに駐輪は厳しく、シェアサイクルだけ増えるのは矛盾している。歩道拡幅や歩車分離をもっと本気で進めてほしい。
地域参画・コミュニティ	町内会に入れてもらえない、交流が閉鎖的、集合住宅には案内が届かないなど、地域参加のハードルが高い。多くの人が「取り組みを全然知らなかった」と言っており、誰でも気軽に参加したくなる企画や周知の仕組みが必要だと思う。
再開発・緑の喪失への懸念	外苑再開発や高層ビルの乱立で木が切られ、空が奪われ、街が均質化していくのは本当に許せないし悲しい。先人たちが残してくれた緑や文化を「今だけ発想」で壊してほしくない。これ以上の大規模開発はやめるべきだと強く感じている。
区の姿勢・住民との距離感	支所の職員はとても親切だと思うが、役所や警察は住民の声を聞いていない、上から目線だ。税金で行われる事業なのだから、住民が置いてきぼりにならないよう、もっと丁寧に向き合ってほしい。